

ジェネリック医薬品の製造・販売に取り組み、その安定供給に努めています

わたしたちはジェネリック医薬品の供給体制をよりよいものにするために、ジェネリック医薬品の製造販売事業を展開しています。独自の品質検査や工夫をこらしたパッケージ開発などの特色をご紹介します。

「自信を持って品質の高い医薬品を提供したい」が原点です

増え続ける国民医療費を抑制するために、ジェネリック医薬品のさらなる使用拡大が求められています。国は2020年9月までにジェネリック医薬品の数量シェアを80%にすると定めており、2018年9月時点で72.6%に達しています。

しかし、ジェネリック医薬品が普及する一方で、あらたな混乱や不安が生まれています。同じ成分の薬に対して数十社のメーカーがジェネリック医薬品を発売することがあるため、医師や薬剤師のみなさまからは「どれを選べばよいか判断に迷う」という声をよく聞きます。また、製造量が少なく安定供給されなかったり、発売されたものの数年で発売中止になったりすることもあり、調剤薬局にとっては仕入れや在庫管理がむずかしいという声もあがっています。販売される製品は厚生労働省の品質基準をクリアしており、品質は向上しているとはいえ、患者さまのあいだには品質に対する不安も根強く残っています。

こうした混乱や不安があるなかで、医薬品卸売事業を営むわたしたちも何かお役に立ちたい。自信をもって品質の高いジェネリック医薬品を安定供給したいと考えるようになりました。さまざまな検討を重ねた結果、2016年11月にジェネリック医薬品の製造・販売を行う共創未来ファーマ(株)を発足しました。順調に製品数を増やしており、2019年3月には73成分156品目に達する予定です。

高品質の医薬品を供給するために厳しい検査を課しています

厚生労働省の基準をクリアした薬のなかでも、有効成分が体に吸収されていく度合いや安定性の数値にはばらつきが出ます。共創未来ファーマ(株)は、東京都品川区の自社工場内にある品質管理棟に精度の高い検査機器を導入し、厳しい基準を自らに課して、品質の向上に取り組んでいます。

「KMPパッケージ」で薬剤師の負担を軽減しています

KMPとは、KYOSOMIRAI PHARMAの略で、パッケージ(個装箱)に当社ならではの工夫をほどこしています(次ページ右下の写真参照)。箱の表面にさまざまな情報を記載して、中を開けなくても必要なことがわかるようにしています。こうした工夫は、卸売事業を通して医療機関のみなさまのニーズを把握している当社グループならではの強みといえます。

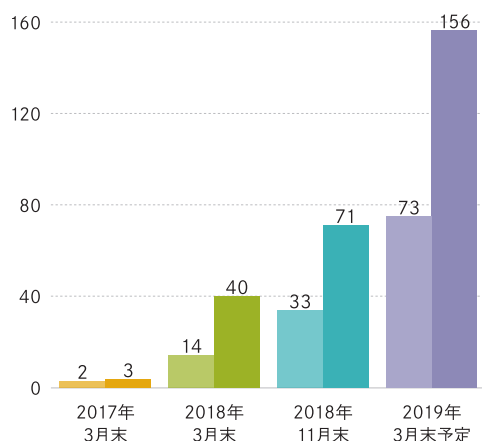
環境負荷の低減に取り組み、「ISO14001」を取得しています

工場では、製造過程でなるべく環境に負荷をかけないように心がけています。汚染物質をそのまま排出しないのはもちろんのこと、あらゆる面で省エネやリサイクルに取り

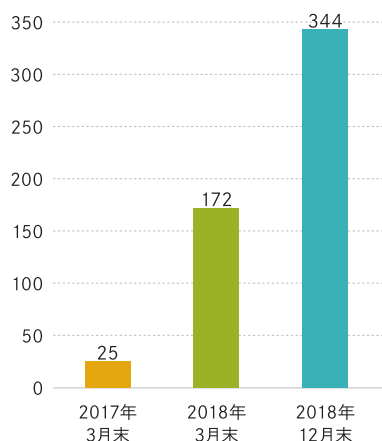


「ISO14001」更新の査察を受ける

製品数 左：成分数 右：品目数



採用病院数(200床以上) 院内採用施設のみ



共創未来ファーマ(株)の品川工場

組んでいます。やみくもに実行するだけでなく、実際に効果が出ているかどうかの点検に力を入れており、定期的に会議を開いてデータをチェックしています。環境マネジメントシステムの国際標準規格「ISO14001」の認証も取得しています。

市場のニーズを把握して安定供給を続けていきます

医薬品を提供するときはそれに付随した情報も医療機関へお伝えする必要があります。それはジェネリック医薬品であっても同じです。わたしたちの卸売事業のMSは、全国の病院やクリニック、調剤薬局を日々訪問して、医薬品についての新しい情報をお伝えしています。指導せん（患者さま向け説明

資料）を欲しいとリクエストされたときなどもすぐに担当部署にフィードバックします。グループ内に卸売事業と医薬品製造販売事業を持つ「製販一体型ビジネスモデル」ならではのスピーディな対応が可能です。

また、卸売事業と調剤薬局事業を持つことで、「いつどのくらいの数量が必要とされるか」という市場のニーズもつかみやすく、長期間にわたる安定供給が可能となります。これらの点が高く評価されて、2018年12月までに200床以上の病院の344施設において共創未来ファーマ（株）の製品が採用されています。これからも事業の拡大に向けてよりいっそう努力してまいります。

品質を高めるための設備と検査機器

天秤室



標準品や試薬の計量を行います。セミクロ天秤は0.00001g単位を測ることができます。

溶出試験機



有効成分が体内で溶けていくスピードをin vitro（試験管内）で調べます。

無菌試験用アイソレーター



無菌の環境を作り出します。医薬品の無菌試験に使用します。

「KMPパッケージ」の工夫



製品情報カード

シン目で切り離して薬剤棚の製品情報カード（製品名、QRコード）として使用することができます。



GS1コード

製品情報カードにGS1コード（流通のための国際的なコード）を印刷しています。

QRコード

QRコードを読み取ることで、最新の添付文書（医薬品の使用者や医師、薬剤師向けの製品情報を記載した書面）を確認することができます。



新バーコード

変動情報（製造番号や使用期限）や販売包装単位などを確認することができます。



含量規格表示

他の含量規格も記載しています。この場合、1錠=30mgの錠剤も販売していることを示しています。



錠剤イメージ図

開封前に錠剤の概要を確認することができます。錠剤そのものには、片面ではなく両面に名称を入れて、なおかつ刻印ではなくプリントにすることで視認性を高めています。



クラッシュ機能

廃棄するときに、両手で上から押すと簡単に潰れます。

